

February 2016

vol. 246

■今月のトピックス

台湾における健康産業政策の推進及び発展契機

■日本企業から見た台湾

～福岡銀行台北駐在員事務所所長、
平山孝行氏インタビュー～
台湾に地方銀行として初めて拠点を設ける
福岡銀行

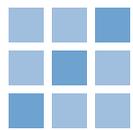
■台湾進出ガイド

台湾工業区及び輸出加工区情報

■台湾マクロ経済指標

■インフォメーション

【今月のトピックス】



台湾における健康産業政策の推進及び発展契機

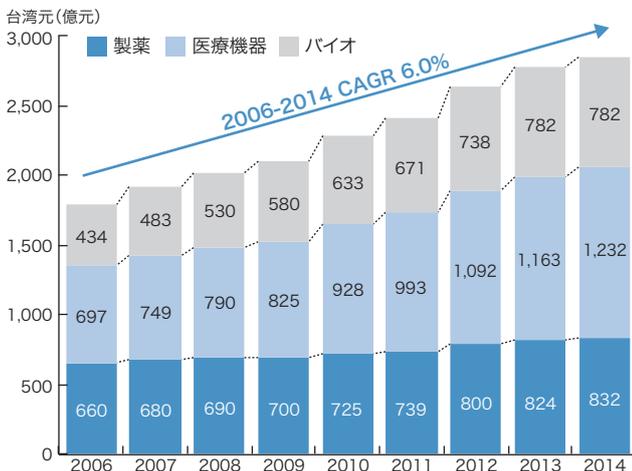
台湾の医療技術・水準はかねてより国際的に高く評価されており、世界のトップ200の医療機関に14の医療機関がランクインしており、アジアではトップ、世界では米国及びドイツに次いで第3位となっている。競争力を備えた特色ある医療サービス産業を如何にして台湾健康産業の発展契機としていくか、またその他新薬・医療機器・健康・介護等の関連産業の発展促進や国際的な地位の向上も見据え、「国民の健康」を今後の健康産業政策の主な推進目標として掲げている。本稿では台湾の健康産業の発展状況及び今後の政策推進の方向性、更に関連のビジネスチャンスについて紹介する。

台湾における健康産業の発展状況

衛生福利部の統計によると2013年健康保険の1人当たりの支出額は1,385米ドルであり、当年の台湾のGDPの6.61%を占め、総支出額は323億米ドルに達する。過去20年間の年平均成長率は4.7%であり、急速に進む高齢化が医療ニーズ増加の主要因の一つとなっている。また、台湾の健康産業の市場規模も年々増加

傾向にあり、2006年以降の年平均成長率は6%と急成長している(図1)。2014年の市場規模は2,846億元に達し、主に医療機器及びバイオテクノロジー分野がそれぞれ43%及び29%を占め、2分野の合計で全体の7割以上を占めている。

図1：台湾の健康産業市場規模の推移



台湾健康・介護サービス産業の急成長

医療機関は健康産業において中核となる組織であり、2014年の国民健康保健の総支出の43.6%、約4,079億元を占めている。台湾の医療サービス水準は高く、国際的にも認められており、2014年末時点で計14ヶ所の医療機関が国際的な医療施設評価認証機関であるJCIの認証を取得している。臨床データにおいても、例えば口蓋裂の治療成功率100%を誇り、東南アジア初の頭蓋顔面外科センターの設置やアジア初の心臓移植成功手術事例、肝臓移植後5年の生存率は91.2%に達する等、様々な領域で世界をリードしており、また高品質で合理的な治療費が台湾のメディカルツアリズムを牽引している。衛生福利部の統計によると、現在メディカルツアリズムの市場規模は年間141億元、利用者数は約26万人に達しており、2008年の6.8万人と比較すると4倍近くに増加している。

医療を中核に健康産業の促進を図る経済成長戦略

台湾の健康産業は、早期においては医薬品の研究開発が主流であったが、近年はバイオテクノロジー及びその他ハイテク産業の整合に重きが置かれており、クロスオーバー領域によって人々の生活クオリティを改善しようとする取り組みが進められている。また、台湾健康産業政策は、1995年の「バイオ技術産業推進強化方案」を契機に、その後は「挑戦2008、両兆双三星（両兆とは生産高が1兆台湾元を超えることが期待される半導体とディスプレイの両産業、双星とはデジタルとバイオという将来のスター産業を指す）」や「台湾生技起飛鑽石行動方案（台湾バイオテクノロジー飛躍ダイヤモンド・アクションプラン）」、「台湾生技起飛行動方案（台湾バイオテクノロジー産業発展アクションプラン）」等が各政府関連組織によって推進されている。こうした中、台湾バイオ健康産業の発展促進を目指し、2015年には行政院が「台湾生物経済産業発展方案」を推進している。バイオ資源及びバイオ技術を基盤とした国内産業の高付加価値化や産業発展、経済成長及び国民の健康・福祉の向上促進を図っており、健康産業及び工業・農業を含む市場全体の規模は、2014年の2兆元から2020年には3兆元、2025年には4兆元に拡大すると見込まれている。

医療・看護のトータルサービスに潜むビジネスチャンス

現在、台湾の健康・介護サービスは、医療機関における疾患医療がメインであり、台湾の健康産業において最も競争力のある中

核的産業となっている。しかし将来的にはこうした疾患医療を発展の中核としながら、発病前後における健康・介護産業のバリューチェーンを如何に強化し、産業化やサービス化、国際化に向けて発展させていくかが焦点となっている。国民のニーズ面及び産業の潜在的な供給力等の面から、将来的な健康介護産業の発展は、「健康管理」、「健康で安全な食事」、「運動」、「メンタルヘルス」が4大テーマとなっている。またこれに対応して発展が見込まれる産業には、健康ICT製造業、健康ICTサービス業、健康サービス業、健康関連製品等が含まれる。この他、あらゆる分野における医療介護のトータルサービス体制の発展に向け、台湾政府は、上位政策の発展ビジョン及び目標を確実に実施し、医療サービスを中核としながら、スマート・イノベーション・ハイテク・整合及び応用等によりバリューチェーンを強化し、将来的には海外からの企業誘致戦略を重点ポイントとしていく予定である(図2)。

一方、日本では最先端医療技術やハイテクスマート医療機器の研究開発、スマート健康介護等の分野において、制度面や人材面、管理面、市場面等の様々な面で台湾よりも多元的に発展しており、台湾政府や企業にとっては政策プラン或いは産業ニーズ等様々な面において、日本の事例を参考とする機会がより一層増えていくであろう。

(江啟漢:c-chiang@nri.co.jp)

図2: バイオ関連各領域における推進重点ポイント

分野	産業向上技術	対応法規	クロスオーバー型人材の育成	産業化・国際化の推進	資金サポート・その他
製薬	新薬 ニッチ製品	バイオ新薬条例	・創業管理人材、法規審査 人員	マッチングプラットフォーム、 国際チャネルの構築	・政策優遇・株式上場による 資金調達
医療機器	治療以外の医療ニーズ	医療機器専門法	・医療関連のクロスオーバー 型人材	従来の伝統的企業から永 続経営へのシフト、台湾の ブランド化	・ベンチャーキャピタル・ ファンド
介護	スマート介護医療機器 ・補助器材・サービスシ ステム、ウェアラブルデ バイス	長期介護法、衛生福利 資料統計應用法規	医療管理サービス、健康促 進、健康介護関連の新興産 業人材	国際医療、医療管理輸出プ ラットフォーム、エリア毎に 特色を備えた介護のトータ ルサポート体系	医療管理サービス産業への 融資、医療機関を跨いだ医 療システム・個人データ
食品	食品加工新興技術、高 齢者用健康食品、国産 の特色ある農作加工品	国際基準の産業自主 管理法規	食育の推進、食品工場にお ける専門技術及び法規に関 する教育	生産・物流・販売の体系化、 低温食品、特色あるニッチ 製品	バイオリソースの保護・管理、 市場データベース
農業	種苗、遺伝子、生物製 剤、スマート生産、リソ ース再利用、動物健康 管理	農業用バイオ製剤、新 型ワクチン、品種、リソ ース再利用・応用等の 関連法規	マーケティング法規、知的財 産等の管理技術、創業人材	研究成果の産業化、国際化、 新規事業	国際法規データベース、農業 バイオに関する知的財産ネ ットワーク

出所: 行政院科技辦公室